



認定部門

休暇取得促進部門

株式会社ゼネット



働き方を見直すいきいき職場を応援！

ワークライフバランスフェスタ東京2012



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2012

R100

古紙/バブル配合率100%再生紙を使用

働き方を見直すいきいき職場を応援! —————

ワークライフバランスフェスタ東京2012



WORK LIFE BALANCE FESTA TOKYO 2012



株式会社ゼネット

会社概要

会 社 名	株式会社ゼネット
代 表 者 名	四元 一弘
創 立 (創 業)	1999年
所 在 地	豊島区南池袋2-30-17 朝日生命南池袋ビル2F
TEL / FAX	03-5979-1621 / 03-5979-1622
従 業 員 数	115 名
U R L	http://www.zenet-web.co.jp/



事業内容

「基盤構築から設計・開発・保守までの、ワンストップのソリューションを提供」

■システム開発/システムの基盤構築

大手金融機関・公共を中心とした、業務知識・ノウハウには定評があり、顧客からの高い信頼度を誇ります。他にも、Eコマース・保険・医療といった分野・オープンソースのソフトウェア開発にもいち早く取り組み実績を積んでいます。

■システムコンサルティング/プロジェクトマネジメント

ゼネットが目指すのはICT企業として基盤構築から開発・保守に至るまでワンストップでお客様のニーズにお応えできるパートナーです。そのためにお客様のニーズを把握し、目的を貫徹できるITサービスをコンサル・マネジメントする事を命題としています。規模の追求ではなく、仕事の質でナンバーワンをめざします。

■クラウド/教育事業/RUBY

新たな挑戦としてクラウド型販売管理システム「SALES BOX」を開発。教育事業へもITパスポートをはじめとするeラーニングの提供、研修事業へ積極的に展開を図っています。日本で7番目に認定企業となったRUBY言語を使ったシステム開発で、生産技術の向上に挑んでいます。



♡ 目的・理念

システムを創る前に人を創る!

人材育成は、わが社にとって最重要課題です。

社員のライフワークとしての仕事を考える上で、働く環境づくりの整備がもたらす効果は、モチベーションのアップ・仕事の能率アップのみならず、一人ひとりの社員の幸福にもつながると考えています。

仕事も社会生活の一部であり、プロジェクト休暇や、ボランティア休暇などの取組も、家族、地域の良好な関係が築ける助けになればと考えています。

このようにワークライフバランスの積極的取組を行うことによって、社員一人ひとりの幸せにつながり会社としても大きく発展して行くことを目的としています。

♡ 取組内容

ボランティア休職制度の実施および推進

- ・女性社員がボランティア休職制度を利用し、海外ボランティアに2年間参加して復帰しました。活動内容を社内ポータルで掲載したほか、報告会を開催しました。

プロジェクト休暇(3日)の設置と有休を併用した長期連続休暇の取得促進

- ・プロジェクト休暇を(3日)を夏休みとしてだけでなく、プロジェクトの切れ目などに、有休と併用して、長く自由に設定が出来るように改定しました。

出産時の夫の特別休暇

- ・立ち合いだけでなく、出産時に特別休暇1日を設定し、家族との時間を過ごせるように設定しました。

有休取得奨励日(連休のはざま)の設置による長期連続休暇の取得促進

- ・連休(GW・祝日の飛び石連休)のはざまの平日を有給奨励日と設定し、連休を取りやすくしました。

ノー残業デーの実施(週1回)

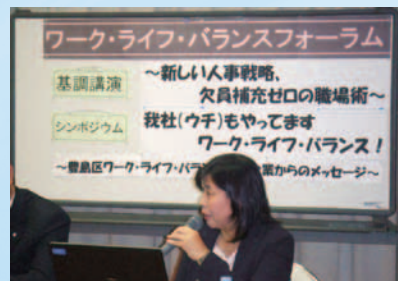
- ・毎週水曜日を定時退社の日に設定し、節電と社員の健康管理の一翼を担っています。

e-ラーニングシステムによる効率化

- ・社員のモチベーションアップの方法として、自社開発e-ラーニングシステムでスキル向上を奨励することにより、作業の効率化の促進を図っています。

業務マニュアルの作成による効率化

- ・「業務マニュアル」「業務フロー」を毎年見直し、仕事の見える化を進めて効率化を図ることにより、業務の属人化を防ぎ、休暇を取得しやすい環境を整えました。



♡ 実現のポイント

事前に休暇予定表提出

休暇の取得の促進で問題になるのは、作業との兼ね合いです。そのため、作業上問題がないか、事前にプロジェクト休暇取得の予定表を上長に提出し、調整するようにしています。

ボランティア報告会等の開催

- ・JICAのボランティア参加促進も兼ね、参加者の体験談報告を開催したり、週1回の英会話教室も会社負担で行いました。

社員への周知の工夫

- ・ワークライフバランスの取組自体を社員に周知・促進するために、社内ポータルや全体会議といった場で発表し、促進を図っています。
- ・提案制度の活用により、社員自身が様々な意見を発信できる場を作り、年に2回の全体会議の場で社員全員に直接伝達する事によって、会社のワークライフバランス促進の取組を全員に奨励しています。

♡ 従業員の意見

職場への効果

- ・全体会議で男性社員の育児休業の報告があったのですが、社員全体に共感や良い意味での驚きの声が聞こえました。会社の育児休業・子ども手当等の積極的な取組に好感が持て、社内に良い雰囲気を感じました。
- ・会社の特別な取組というより、自然な形で受け入れのできる土壌が、ゼネットにはあると思います。

会社の姿勢や方針について評価できる点

- ・社員から社内改善策を広く募り、又、早急に出来るものから取り上げています。

生活や働き方への影響

- ・女性でも長く働ける環境があると感じました。

職場での周知方法

- ・年2回の全体会議や社内ポータルサイトでの周知、課会などで取組を周知しています。

